

# 総領事館便り4月号

---

## ★離任の御挨拶

### ●竹山 健一 総領事

2月15日、帰国の発令があり、3月24日にスラバヤを離任することとなりました。この会報が皆さんのお手元に届くころにはすでに日本に戻っているタイミングだと思います。私はコロナ・パンデミックの真ただ中の2021年4月25日にスラバヤに着任し、離任までほぼ4年を総領事として勤務しました。この4年間、在留邦人の皆様の保護、対インドネシア政府、東ジャワ州政府との関係において日系企業各社の事業が円滑に進むよう側面支援を行うということを1番目の柱とし、また日本とインドネシア、とりわけ東ジャワ州との友好協力関係の増進を2番目の柱として常に念頭におき活動して参りました。前者については、パンデミックの際には在留邦人の皆様に対するワクチン接種の機会の確保するための保健当局との折衝、移動制限がある中で帰国を希望される在留邦人の皆さんがジャカルタまで移動できるよう関係当局との折衝、感染されて緊急移送を必要とされた方の帰国支援を行わせていただいたこと等が記憶に残っています。また州内の日系企業が周辺住民との間でのトラブルに巻き込まれた際には警察当局、州政府労働当局や投資局に支援要請を行うなどトラブルの鎮静化に努めましたが、こうした活動の中で関係当局とのコミュニケーションとネットワークの重要性を痛感しました。また、インドネシア、特に東ジャワのような地方では、人間関係に始まり、人間関係に終わるということも身をもって学びました。こうした経験もあり、パンデミック終息後には、東ジャワ州政府、スラバヤ市政府、あるいは日系企業さんが所在する州内の県・市の首長をはじめとする幹部、さらには警察当局や入管当局ともいつでも電話ないし面会ができる良好な関係を構築するという事に注力しました。総領事館を挙げてこうした関係構築に取り組んだ結果として、特に東ジャワ州政府やスラバヤ市政府職員は、非常に好意的な対応を取ってくれるようになったと感じています。また、入管や警察も幹部職員は非常に協力的ではあったのですが、大きな組織にありがちなことですが、一部の不良職員（インドネシアでは「オクヌム」といわれる者たち）による「たかり行為」を無くすことの難しさも痛感しました。私の後任として現在メダン総領事を務めている田子内（たこない）総領事が着任しますが、田子内総領事には、いままで築いた政府関係機関等との良好な関係を一層発展させていってもらえらると思いますが、EJJC会員の皆様におかれましても、引き続き田子内総領事と総領事館に対するご支援とご協力を賜れば幸いです。

スラバヤでの4年間は私にとって、これまでで一番たくさんのインドネシア人の友人に恵まれ、最も楽しく思い出深い在勤となりました。EJJC会員の皆様からも多大なご支援とご協力をいただきました。たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

みなさまのスラバヤでの勤務、そして生活が幸多きものとなるようお祈り申し上げます。

## ★領事手数料の改定（詳細は別紙）

令和7年度（本年4月1日から明年3月31日まで）の領事手数料の主なものについて、別紙のとおりお知らせ致します。なお、令和7年度の領事手数料は、4月1日申請分から適用されます。

（例）3月28日（火）に旅券を申請、4月28日（月）交付の場合

→令和7年3月31日以前の手数料が適用

4月4日（金）に旅券を申請、5月2日（金）交付の場合

→令和7年4月1日以降の手数料が適用

## ★令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「東ジャワ州パチタン県イスラム小学校校舎建設計画」の引渡し式

3月6日、竹山総領事は、日本政府の支援により東ジャワ州パチタン県のイスラム小学校に建設された校舎の引渡しを行いました。引渡し式には、ガガリン・ブリタル県副知事や支援の対象となった学校関係者が出席しました。

今回新しい校舎が整備された小学校は、生徒数の増加に教室が不足し、児童や教員は近隣住民の空き建物や礼拝所で授業を行い、雨天時や礼拝時には授業を中断せざるを得ない状況でした。引渡し式において、竹山総領事は、今回の支援を通じて生徒・教員が適切な環境で授業を行えるようになり、ひいては地域の教育の質の向上や社会の発展につながることを期待しており、整備された校舎や備品を最大限活用してもらいたい旨述べました。在スラバヤ日本国総領事館では、支援された校舎や学校備品が長期間最大限活用されるよう引き続き関係機関と連携していきます。



今回の支援で建設された校舎の外観



引渡し式に出席した県知事、学校関係者



整備された教室を視察する関係者



整備された教室を視察する  
竹山総領事とパチタン県副知事

**★令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式**

3月11日、令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件として実施することになった「東ジャワ州シトゥボンド県産婦人科棟建設計画」の贈与契約署名式を行いました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力は、人間の安全保障の理念を踏まえ、開発途上国における経済社会開発を目的とし、地域住民に直接裨益する、比較的小規模な事業のために必要な資金を供与するものです。

支援の対象となる保健所支所は、地域の母子保健の中核施設と県政府から指定されているものの、入院用病室や医療器材が整備されておらず、リスクの高い妊産婦や新生児向けの治療を行うことができていません。地域における医療・保健サービスのアクセスを改善することを目的として、産婦人科棟の建設や医療器材の整備のための無償資金協力を行うことになりました。

プロジェクトは今後本格的に始動し、産婦人科棟整備の完了は来年度を予定しています。在スラバヤ日本国総領事館は、関係機関と緊密に連携し、プロジェクトの適切な実施に努めていきます。



★「日本とインドネシアの友好」に関する絵画コンクール表彰式

3月14日、絵画教室ロータス・アート・コースが主催し在スラバヤ日本国総領事館が協力する「インドネシアと日本の若者、より良い地球を築くために」をテーマにした絵画コンクールの表彰式を行いました。今回も、多くの素晴らしい絵画が集まりました。いずれの作品も、両国の緊密な関係や文化を見事に描いており、感銘を受けました。今回のコンクールが、子どもたちが両国の友好について関心を持ち、よりよい未来に向けて考えるきっかけになれば嬉しく思います。



両国の文化や協力を描いた  
約 300 点の作品が集まりました



入賞者、ロータス絵画教室関係者  
及び竹山総領事

総領事館からのお知らせ  
 <領事手数料の改定について>

令和7年3月  
 在スラバヤ日本国総領事館

令和7年度（本年4月1日から明年3月31日まで）の領事手数料の主なものについて、下記のとおりお知らせ致します。

なお、令和7年度の領事手数料は、4月1日申請分から適用されます。

(例) 3月28日（火）に旅券を申請、4月28日（月）交付の場合→令和7年3月31日以前の手数料が適用  
 4月4日（金）に旅券を申請、5月2日（金）交付の場合→令和7年4月1日以降の手数料が適用

主な領事手数料(旅券、証明関係)

種 別		令和7(2025)年4月1日～		令和7年3月31日まで		オンライン決済による 納付(日本円) * 電子申請のみ
		書面申請(ルピア) (未交付失効有り)	電子申請(ルピア) (未交付失効有り)	書面申請(ルピア) (未交付失効有り)	電子申請(ルピア) (未交付失効有り)	
一般旅券	旅券(10年用、申請時18歳以上)	1,720,000 (2,350,000)	1,670,000 (2,310,000)	1,790,000 (2,450,000)	1,750,000 (2,410,000)	15,900 (21,900)
	旅券(5年用)	1,190,000 (1,820,000)	1,150,000 (1,780,000)	1,240,000 (1,900,000)	1,200,000 (1,860,000)	10,900 (16,900)
	旅券(5年用、申請時12歳未満)	660,000 (1,290,000)	620,000 (1,250,000)	690,000 (1,350,000)	650,000 (1,310,000)	5,900 (11,900)
	残存有効期間同一旅券	660,000 (1,290,000)	620,000 (1,250,000)	690,000 (1,350,000)	650,000 (1,310,000)	5,900 (11,900)
帰国のための渡航書		260,000		270,000		
各種証明	在留証明	130,000		130,000		1,200
	出生、婚姻、死亡等の身分上の事項に関する証明	130,000		130,000		1,200
	旅券所持証明	220,000		230,000		2,100
	署名又は印章の証明(官公署に係るものを除く)	180,000		190,000		

注 ) 旅券・領事手数料については、基準邦貨額を元に、財務省において邦貨とルピア貨との換算レートの見直しを行い、年度ごとにルピア貨による料金を決定しています。

在スラバヤ日本国総領事館  
 TEL 031-503-0008  
 FAX 031-502-3007  
 e-mail: ryoji@sb.mofa.go.jp  
 在スラバヤ日本国総領事館ホームページ  
<http://www.surabaya.id.emb-japan.go.jp/j/>

以上